

# 《草津市立老上中学校PTA会則》

新規

(案)

## 第1章 名 称

第1条 本会は草津市立老上中学校PTAと称し、事務局を老上中学校に置く。

## 第2章 目的および活動

第2条 本会は保護者と教職員が協力して生徒の健全な心身の育成と福祉の向上をはかることを目的とする。

第3条 本会は前条の目的遂行を本旨とする自主独立の団体であり、政治的宗教的団体、ならびに他のいかなる団体の支配や干渉を受けない。

第4条 本会は第3条の目的を達成するために次の事業を行う。

- 1：学校の行事や活動を支援・補助する（活動支援事業）
- 2：安全で心地よい学習・生活環境づくりに協力する（安全環境事業）
- 3：社会生活に必要な知識や技能を生徒と共に学ぶ機会を設ける（親子研修事業）
- 4：活動内容やさまざまな情報を発信する（情報発信事業）
- 5：その他、目的遂行のため必要な活動を行う

## 第3章 会 員

第5条 本会の会員は、本会則第2章「目的および活動」に賛同する、老上中学校生徒の保護者、または、これに代わる者ならびに同校に勤務する教職員で構成する。会員はすべて、平等の権利と義務をもつ。

第6条 本会の入会および退会は自由である。

第7条 会員は本会の趣旨を十分理解して、本会の事業に積極的に参加するものとする。

## 第4章 役 員

第8条 本会には次の役員を置き本部役員とする。

- 会長 1名（保護者）
- 副会長兼会計監査 1名（保護者）
- 事務局員 2名（保護者1 教職員1）
- 同和教育推進委員 3名（保護者2 教職員1）
- 会計 1名（教職員）
- 顧問 校長

なお、状況に応じて人数はこれを超えてもかまわない

第9条 本会に校長とは別に、本部役員会の上承のもと顧問をおくことができる。

第10条 会長は本会を代表し、総会および本部役員会を招集する。また、市PTAの役員を兼務する

第11条 副会長は会長を補佐し、会長に事故ある時はその職務を代行する。また、会計監査の業務を兼務する。

第12条 事務局員（保護者）は総会および本部役員会の議事進行（議長）を行う。

事務局員（教職員）は各種連絡調整・事務準備等を行う。

第13条 会計は会計事務を担当し、総会において会計報告を行う。

第14条 同和教育推進委員は校区の同和教育推進事業に参加協力する。

第15条 役員任期は4月1日より1年間とし、再任を妨げない。役員選出の方法は細則に定めるところ

ろによる。

## 第5章 会 議

第16条 会議は総会および本部役員会とする。

第17条 総 会

1：総会は最高議決機関であり、年1回以上開く。

2：総会は会長が招集する。ただし、全会員の過半数の要求があった場合は臨時総会を開くことができる。

3：総会の定足数は委任状を含め、全会員の過半数とする。

4：議決には、出席者の過半数の同意を要する。可否同数の時は議長が決する。

第18条 本部役員会は総会の決定に基づき、各事業の具体的計画・運営方法等を審議し議決する。

第19条 本会の運営に特に必要のあるときは、特別委員会を設けることができる。

第20条 会議の議決は出席者の過半数の同意によって決める。

## 第6章 会計・会計監査

第21条 本会の活動に要する経費は、会費・寄付金その他の収入によって支弁する。

第22条 会費の額および徴収方法は総会の議決によってこれを定める。

第23条 本会の経理は総会において議決された予算に基づいて行われ、決算は会計監査を経て総会に報告され承認を得なければならない。

第24条 特別の事情により会費の全部または一部を免除することができる。

第25条 本会の会計年度は4月1日から翌年3月31日までとする。

第26条 会計監査は年度末に1回とする。ただし、必要に応じて年度途中に行うことができる。

## 第7章 細則・規定

第27条 本会の運営に関し、役員選出規定、報酬・旅費・慶弔規定およびその他の必要な細則・規定は本会則に反しない限りにおいて、本部役員会の議決によって定める。

## 第8章 補 則

第28条 会則の改正は総会において出席者の過半数の同意を得なければならない。

第29条 本会則は令和2年 4月 1日より施行する。

# 《老上中学校P T A 役員選出規定》（案）

## 第1条 会則に基づく選出役員の任務および員数

会長 1名（保護者） 市P T A役員を兼務  
副会長兼会計監査 1名（保護者） P T A総会の司会  
事務局員 2名（保護者1 教職員1） P T A総会・本部役員会の議長（保護者）  
同和教育推進委員 3名（保護者2 教職員1）

上記の人数は最低限の必要人数とし、状況に応じて人数を増やすことは可能

## 第2条 役員の選出

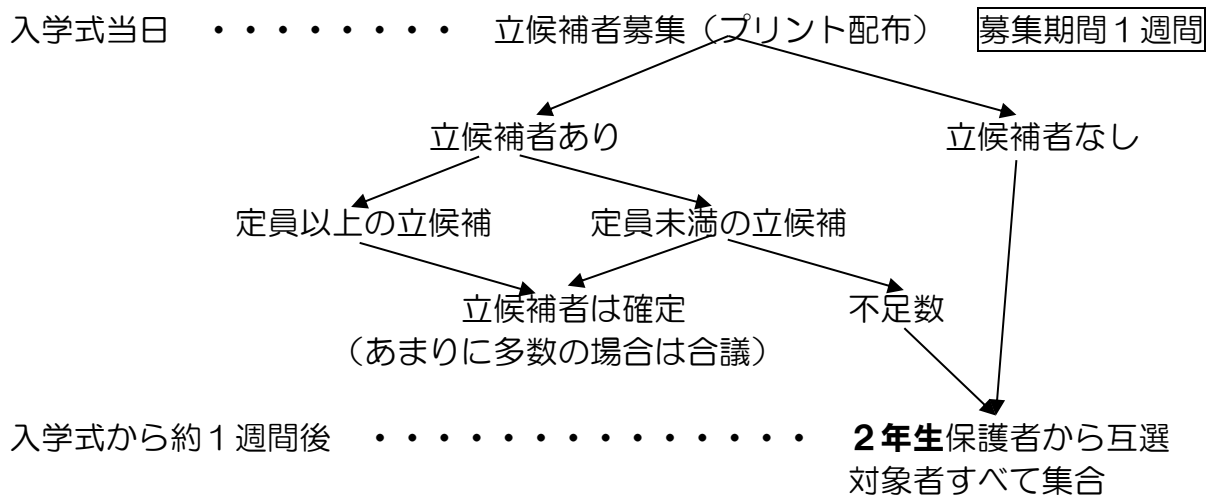
- すべての会員は役員に立候補することができる。
- 役員選出に関する事務は前年度の本部役員（保護者・教職員）が行う。
- 役員選出の手順は次のとおりとする。
  - 役員への立候補の募集
    - 4月（入学式・始業式当日に案内） 届出期間約1週間
    - 役職ではなく本部役員としての立候補（役職は後日互選）
  - 立候補者への対応
    - 立候補者については役員として決定（信任投票は行わない）
    - 立候補者が規定より多くても認める
  - 役員選出会議の開催
    - 立候補が規定数に満たない場合は、立候補期間終了後1週間以内に役員選出会議を開催する。
    - 役員選出会議の参加対象は2年生の保護者全員とする。（免除対象者以外）
    - 役員選出会議ではまず全体から改めて立候補者を募る。
      - ※事前の案内に立候補者を募る旨明記
      - ※当日も安易に抽選に移らずに時間をかけて立候補を待つ
    - 立候補がどうしても定員に満たない場合は抽選で候補者を選出する。  
抽選方法は対象者名簿に番号を振って、前年度役員が番号の抽選を行う
    - 欠席者が役員対象者になった場合は前年度役員から連絡をする。
  - 役員 の 分担 と 引 継 ぎ
    - 4月中に本部役員会（役職の互選）および役員引継ぎ会を開催する。
    - 教職員の役員選出は教職員の互選によるものとし、入学式・始業式の日までに決めるものとする。

## 第3条 役員免除規定

- 役員選出会議においては、以下の1～3のいずれかに該当する人を役員免除とする。
  - 中学校で過去に本部役員（令和2年度までは運営委員）を経験した人
  - 小学校で過去に常任委員を経験した人
- 令和2年度までに小中学校で何らかのP T A役員をされた方のうち以下の場合、特例として役員免除とする。
  - 令和2年度以前に各地域の選出会議で役員免除を約束された人
- 免除規定の適用は自己申告とする。ただし虚偽の申告はこれを許さない。

<参考>役員選出の手順のイメージ

選挙および信任投票は行わない 希望者による役員決定を原則とする



※報酬・旅費・弔意規定は来年度 PTA 改革準備委員会で策定する予定